

GLOBAL OUTLOOK

ロータリアンのためのロータリー財団の資金モデル入門



ロータリー財団の 資金モデル

ロータリー財団は従来、運営費のほぼすべてを投資収入で賄ってきました。金融市場に依存するこの方法では、市場が落ち込めばその年度は投資収入で運営費を賄えなくなる可能性があり、事実、過去に国際財団活動資金（WF）から運営費を借用し、市場回復後にこれを返済したこともありました。

財団が将来的に十分かつ安定したリソースを確保できるよう、管理委員会は、2015年7月1日から有効となる資金モデルを承認しました。この変更により、大規模で持続可能なプロジェクトを支援する財団の力が長期的に高まると期待されています。

本号では、この資金モデルについてご紹介します。



資金モデルのしくみ

資金モデルの根幹はこれまでと変わりません。年次基金（シェア）への寄付はすべて3年間投資され、その50%が地区財団活動資金（DDF）、残り50%が国際財団活動資金（WF）に配分されます（国際財団活動資金は、全地区が利用できる補助金とプログラムを支える資金です）。今後も運営費（寄付推進費と一般管理運営費）の大半は、投資収入によって賄われます。恒久基金の投資収入の一部も、運営費に充てられます。今回の変更は、投資収入にかかわらず運営費を確保できるよう、収入源を多様なものとするを意図したものです。

何が変わるのか

年次基金寄付の5%

運営費を賄い、運営準備金を十分なレベルまで補充するための投資収入が不足している場合、その不足分を補うために年次基金寄付の5%が使用されます。この5%は、WFから差し引かれるものであり、**DDFに対する影響は一切ありません。**

例をとってご説明しましょう。年次基金（シェア）への100ドルの寄付は、50ドルがDDF、50ドルがWFとなります。投資収入で運営費を賄えない場合、または運営準備金を十分なレベルまで補充できない場合に限り、寄付の5%、すなわち5ドルが使用されます。つまり、50ドルがDDF、45ドルがWF、5ドルが運営費となり、この5ドルはその後の投資収入から、年月をかけて補填されることになります。その年度に運営費と運営準備金のための十分な投資収入があれば、WFは50ドルのままとなります。

グローバル補助金への現金拋出の5%

グローバル補助金への現金拋出は、年次基金への寄付とは異なり、より多くの事務手続きが必要となります。グローバル補助金では通常、複数の提唱者が現金を拋出します。また、複数国のクラブが参加するため、通貨を変換する必要があります。一括でクラブから現金が送られる場合もありますが、会員が別々に寄付を送金してくるクラブもあります。その結果、寄付記録や管理、寄付者の認証手続きは複雑になります。その一方で、グローバル補助金への寄付は財団の口座を「通過」するだけであるため、事務手続きの経費を賄うための投資収入をほとんど生み出しません。今回取り入れられた資金モデルでは、手数料として、提唱者のグローバル補助金の現金拋出額の5%を追加で支払うことになります。



7月から 何が変わる？

年次基金への寄付の5%は、運営費を賄うための十分な純投資収入が得られなかった場合に限り、運営費または運営準備金に充てられます。これまで管理委員会は、運営費を賄える投資収入がなかった年度に、国際財団活動資金（WF）に頼っていました。今後、1年間に5%を超えてWFから運営費（または運営準備金）が支出されることはありません。グローバル補助金に現金拠出をする場合、手数料として、提唱者は5%分を追加して支払う必要があります。

その理由は、これによって多様な資金源を確保し、純投資収入への依存度を和らげることができるからです。

よくある質問

従来の運営費の調達方法と大きく異なるのでしょうか。

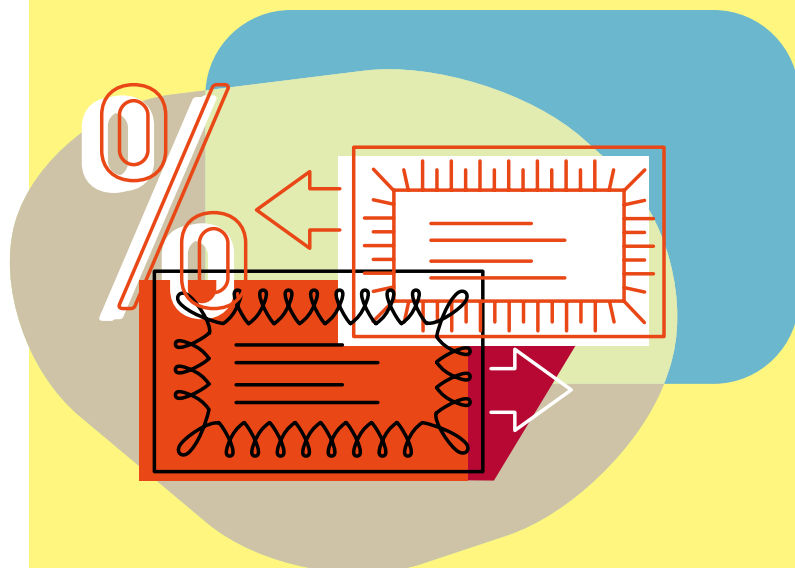
資金の流れとしては、従来からの大きな変更というわけではありません。特に、DDFについて一切変更がないことは重要な点です。

運営準備金の「十分なレベル」とはどのような意味ですか。

財団は、運営費の3年分を準備金として蓄える必要があります。堅調な投資収益によって2014 - 15年度には十分な資金があるため、現時点で準備金は十分なレベルに達しています。

グローバル補助金の資金調達にはどのような影響がありますか。

グローバル補助金への現金拠出の手数料として追加の5%が必要になります。グローバル補助金オンライン申請書の調達資金のページにシステムの変更が加えられ、追加の5%とプロジェクト実施のために求められる資金の総額が自動表示されるようになります。



グローバル補助金に現金を拠出する場合、提唱者は5%を追加して財団に支払う必要があるのですか。

はい。この5%と提唱者拠出金がすべて支払われるまで、補助金の要件は完了とみなされません。ただし、財団ではなくプロジェクトの銀行口座に直接現金を送金する場合、財団での手続きが必要ないため、追加の5%は支払う必要はありません。また、DDFを使用する場合も追加の必要はありません。提唱者は、オンライン申請書の計算機能を活用して、プロジェクト資金の調達方法を検討することができます。

財団を通じてグローバル補助金に現金を拠出した場合、認証ポイントはどのようになりますか。追加の5%もポイントの対象になりますか。

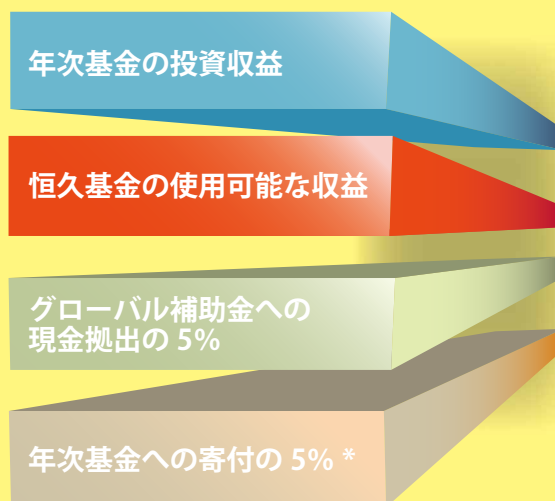
ポール・ハリス・フェローの認証ポイントは、5%を含む現金寄付額に対して授与されます。該当する場合、公益財団法人ロータリー日本財団から、全額について確定申告用の領収書が発行されます。

この変更は、主要な慈善団体としてのロータリーの定評に影響を与えますか。

責任をもってご寄付を管理することにより、ロータリー財団は、複数の独立慈善格付け機関から最も高い評価を得ています。10月には、Charity Navigator から再び最高の4つ星評価を得ました。事実、非営利組織に関する主要な情報機関である BBB Wise Giving Alliance、Charity Navigator、GuideStar は、非営利組織の評価基準に変更を加え、組織の「活動成果」を重視するようになりました。コスト全般を妥当に抑えることは現在も重要とされる一方で、研修、プランニング、内部システム、運営への投資も重要であると、これらの機関は述べています。これらの機関が合同で発行した書簡を www.overheadmyth.com でご参照いただけます。ロータリーは今後も、透明性、責任ある資金管理、プログラムの成果と持続可能性に力を注ぎ、定評があり信頼できる慈善組織であり続けるよう努力していきます。

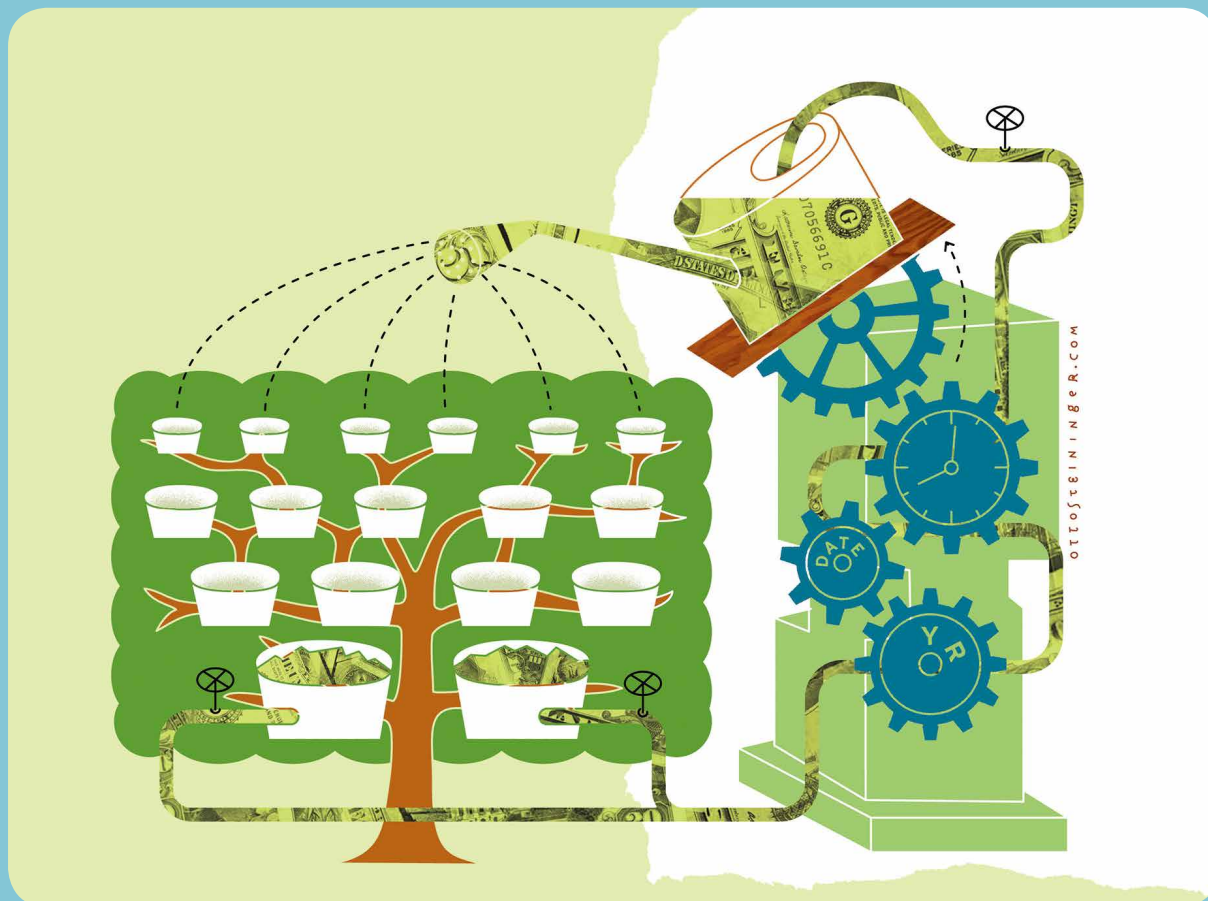
なにが 2015 年 7 月 1 日以降の
運営費の資金源に
なりますか？

運営費 =
寄付推進費
と
一般管理運営費の資金源



*運営費を賄うのに十分な純投資収入がない場合のみ

グローバル補助金 への 影響



例えば、ウガンダの辺境の地で水プロジェクトを実施するために、地区が総費用 45,000 ドルのグローバル補助金プロジェクトを申請する計画を立てているとします。DDFのみを使う場合、これまでと変わりはありません。

地区が財団を通じて現金拠出する場合、追加の 5%を支払う必要があります。このため、総額 45,000 ドルのグローバル補助金プロジェクト

で、地区が現金 30,000 ドルを拠出し、WF からの上乗せ 15,000 ドルを受領する場合、現金拠出額は 31,500 ドルとなります。

オンラインの補助金システムでは、現金拠出額を入力すると、自動的に必要な送金額が算出され、表示されます。

イアン・ライズリー 管理委員に聞く

財団の資金モデルについてロータリアンが知っておくべき最も重要なことは何ですか？

この資金モデルは、財団の収入源の多様化によって長期的な財務の安定性を高めるものです。

資金モデルへの変更について会員からどのような懸念が挙がっていますか？

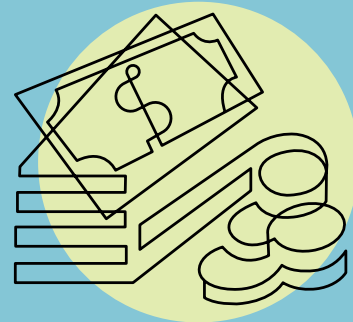
今回の変更が現行モデルからの大きな変更だと危惧している会員がいらっしゃるようです。しかし、実際には変更はごくわずかなものです。また、DDFへの影響について尋ねてくる方もいますが、DDFへの変更は一切ないことにご留意いただくことが重要です。資金モデルへの変更は、単に、既に行われている手続きに一定の枠を設けるものであり、グローバル補助金については、財団を「通過」する寄付の事務手続きの経費を賄うというニーズに応えるものです。

会員からの懸念にどう対応していますか？

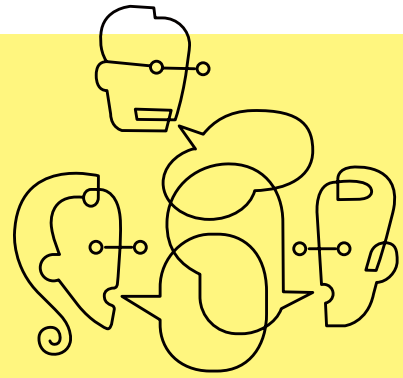
資金モデルに関する公式のご案内や文書を、全会員に読んでいただきたいと思います。管理委員会は、オープンで明瞭な連絡を行うことによって、財団プログラムへのロータリアンの信頼が高まり、結果的にご支援と積極的な参加が促されると信じています。ウェブサイト（Rotary.org）に掲載されたお知らせには、この変更について詳しく説明した『ロータリー財団の資金モデル』という資料へのリンクも掲載されています。地区とクラブの役員と委員会のための研修資料も、現在、改訂作業が行われています。ロータリアンからのお問い合わせ専用Eメールアドレスも作られましたので、ご質問のある方は fundingmodel@rotary.org までお問い合わせください。

知っておくとお得な情報

グローバル補助金にDDFを使用する場合はWFから同額が上乘せされますが、現金拠出に対しては上乘せは半額となります。また、DDFを使用する場合、補助金の手続きにかかる時間が現金拠出よりも短くなります。このため、左ページのウガンダのプロジェクトの事例でいえば、DDFのみを使用した場合、もっと多くの井戸を、もっと早く設置できるようになります。



私たちの資金



年次基金（シェア）とは何ですか？

年次基金（シェア）とは、地元や海外におけるロータリー財団の幅広い活動を支える主な資金源です。「Every Rotarian, Every Year（E R E Y）」は、財団の年次基金への支援を促進するための取り組みです。E R E Yは、すべてのロータリアンが、毎年年次基金に寄付することを奨励するものです。地区の全ロータリークラブからの年次基金（シェア）へのご寄付は、2つの資金、「国際財団活動資金（WF）」と「地区財団活動資金（DDF）」に分けられます。このシェアシステムを通じて、ロータリー財団へのご寄付が補助金へと生まれ変わります。

国際財団活動資金（WF）とは何ですか？

WFは、世界中で最も優先される活動に充てられます。シェアへのご寄付の50%がWFとなります。財団は、すべての地区が利用できる補助金とプログラムのためにWFを活用します。

地区財団活動資金（DDF）とは何ですか？

地区財団活動資金（DDF）は、地区や地区内クラブが選んだ、財団やクラブおよび地区のプロジェクトに充てられます。地区は、DDFの半分までを地区補助金として利用できます。DDFの残りは、グローバル補助金として利用するか、ポリオプラス、ロータリー平和センター、他地区に寄贈することができます。

恒久基金とは何ですか？

恒久基金は、財団およびその補助金とプログラムの未来を確かなものとするための基金です。恒久基金の使用可能な投資収益により、財団が既存の活動を拡大するとともに、新しい活動を支援することが可能となります。ご寄付は恒久的に投資され、基金の評価額の合計の一定の割合が、毎年、財団の補助金とプログラムに直接充てられます。



ご質問がありますか？

ロータリー財団の資金モデルについて質問のあるほかの方々に、この情報をお伝えください。資金モデルに関するお問い合わせは、fundingmodel@rotary.org にご連絡ください。